

QHY CCD QHY5III 取扱説明書

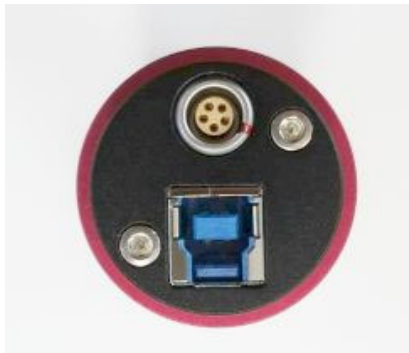
この度は QHYCCD 社の「QHY5III」をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。
製品の使用にあたっては本取扱説明書をご参照のうえ、正しい取り扱い方法でご使用ください。

<商品内容>



- ・専用ケース
- ・QHY5III 本体
- ・同焦点リング（プラネジ付）
- ・シムリング 2 枚
- ・31.7mm ノーズピース（短/長）
- ・専用ガイドケーブル（黒色）
- ・USB3.0 ケーブル（黒色）
- ・ドライバ CD
- ・保証書

<ケーブルの接続について>



背面の USB3.0 コネクタに USB3.0 ケーブルを、円形のガイドポートに専用ガイドケーブルを装着します。ガイドケーブルは赤い印を合わせて装着してください。

<同焦点リングについて>



同焦点アイピースをお作りになる場合は、付属の同焦点リングとプラスチックネジを利用して任意の位置に固定してください。付属の 31.7mm ノーズピースは 2 種類あり、短い方は先端が C マウントネジになっています。長い方は延長スリーブの役割と先端に 31.7mm 枠付フィルターが装着できるようになっております。（ネジ径：M28.5mm）

QHY CCD 社国内総代理店
天文ハウス TOMITA 福岡本店
福岡県大野城市御笠川 2-1-12

< ドライバ CD の内容 >

付属のドライバ CD には以下のファイルが含まれております。

ファイル/フォルダ名	使用目的
・ QHY5IIISeriesDriverLatestEdition	QHY5III のドライバ
・ EZCAP_QTLatestEdition	QHY CCD 製キャプチャソフト
・ phd2-2.6.7-installer.exe	オートガイド用ソフト
・ QHYCCDASCOM-Capture-StarSenseSci-V0.1.51.44.exe	QHY5III の ASCOM ドライバ
・ ASCOMPlatform64.exe	ASCOM 接続に必要
・ SharpCapInstall-3.2.6309.0.exe	サードパーティー製キャプチャソフト
・ カメラ取扱説明書.pdf	現在のファイル
・ EZCAP_QT 説明書.pdf	QHYCCD 製キャプチャソフト説明書
・ Sahrp CAP 説明書.pdf	サードパーティー製キャプチャソフト説明書

< QHY5III ドライバのインストール方法 >

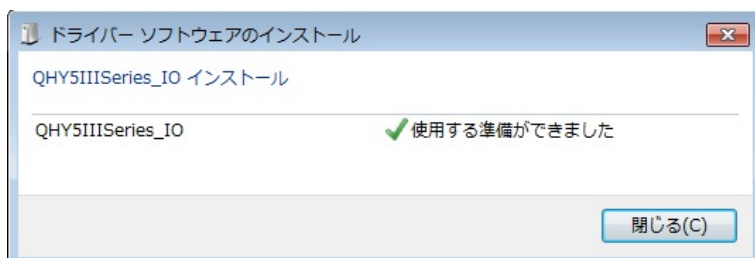
パソコンへドライバ CD を挿入し、CD-ROM ドライブを開いてください。

CD 内の QHY5IIISeriesDriverLatestEdition フォルダを開きます。

パソコンの OS が Windows10 以前のバージョンの場合は、「QHY5IIISeriesDriver200417win7.exe」を、OS が Windows10 以降の場合は、「QHY5IIISeriesDriver200417win10.exe」を、ダブルクリックしてインストーラを起動し、ドライバをインストールしてください。

※言語選択の表示が出たら English を選択してください。OS の相性により文字化けすることがありますが、問題はありません。

ドライバのインストールが完了したら、QHY5III の USB ケーブルをパソコンの USB ポートに挿入します。自動的にドライバが認識され、パソコンに QHY5III が認識されます。

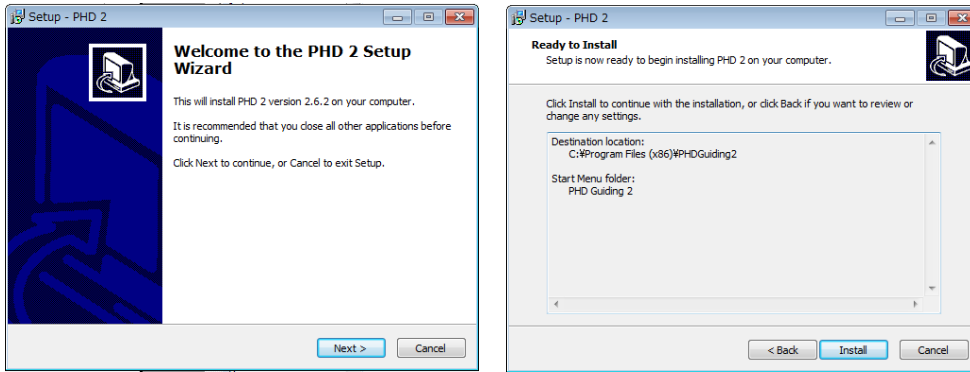


正常に認識されているか確認するには「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」を開きます。AstroImaging Equipment > QHY5IIISeries_IO として認識されていれば完了です。※お使いの環境により表示名が異なる場合がありますが、問題ありません。

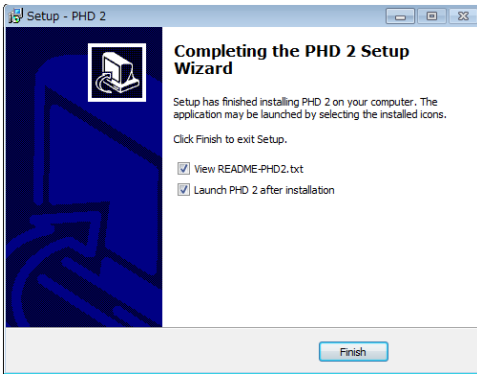


【 PHD2 Guiding のインストール 】

- ① ドライバ CD 内の phd2-2.6.7-installer.exe をダブルクリックしてインストーラを起動します。「NEXT」をクリックしていき、右下の画面の「Install」をクリックします。



- ② インストールが進行し、下記の画面が表示されるとインストールは完了です。「Finish」をクリックします。

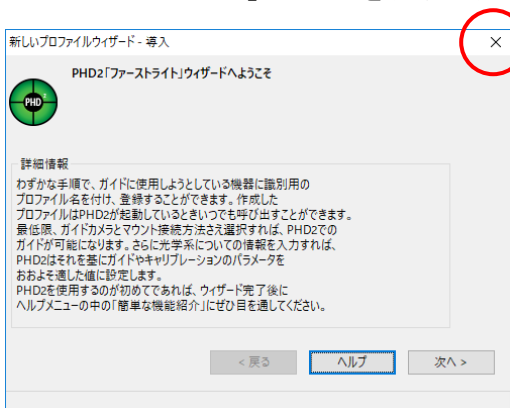


- ③ これでインストールは完了です。使用する場合はデスクトップ上にショートカットアイコンを作成し、ダブルクリックして起動します。



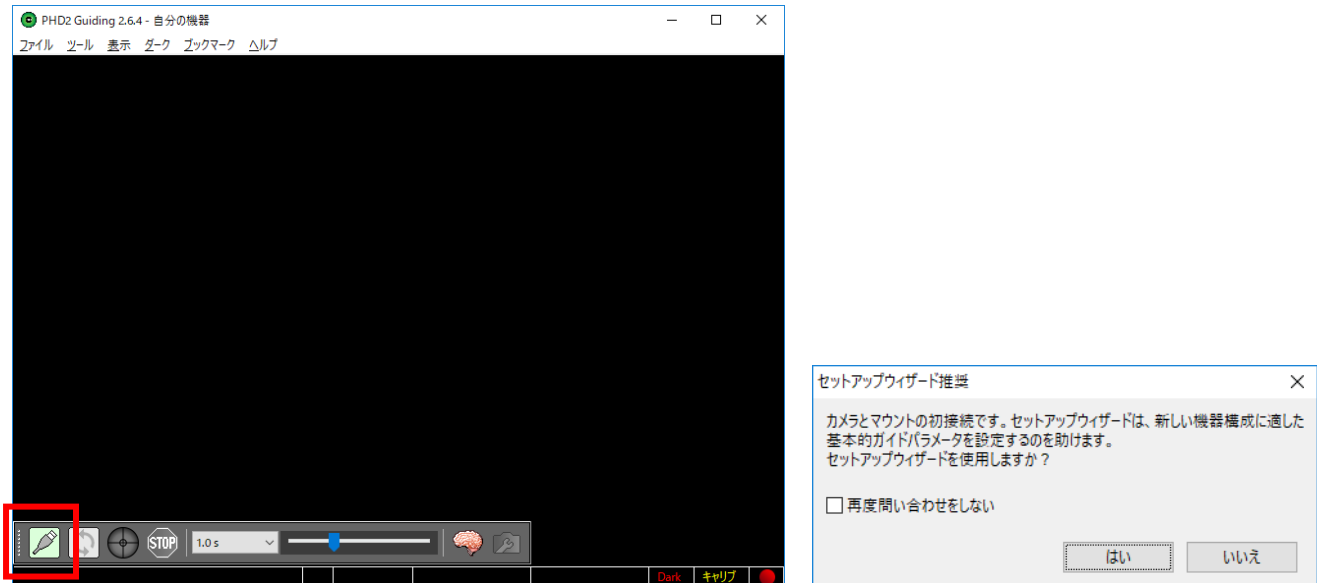
【 PHD2 Guiding とカメラの接続 】

- ① PHD2 Guiding を起動します。
初回起動時に、PHD2「ファーストライト」ウィザードへようこそ 画面が表示されますが、ここでは右上の「×」ボタンをクリックして画面を閉じます。



- ② 次に USB アイコンをクリックして「機器と接続」画面を表示します。

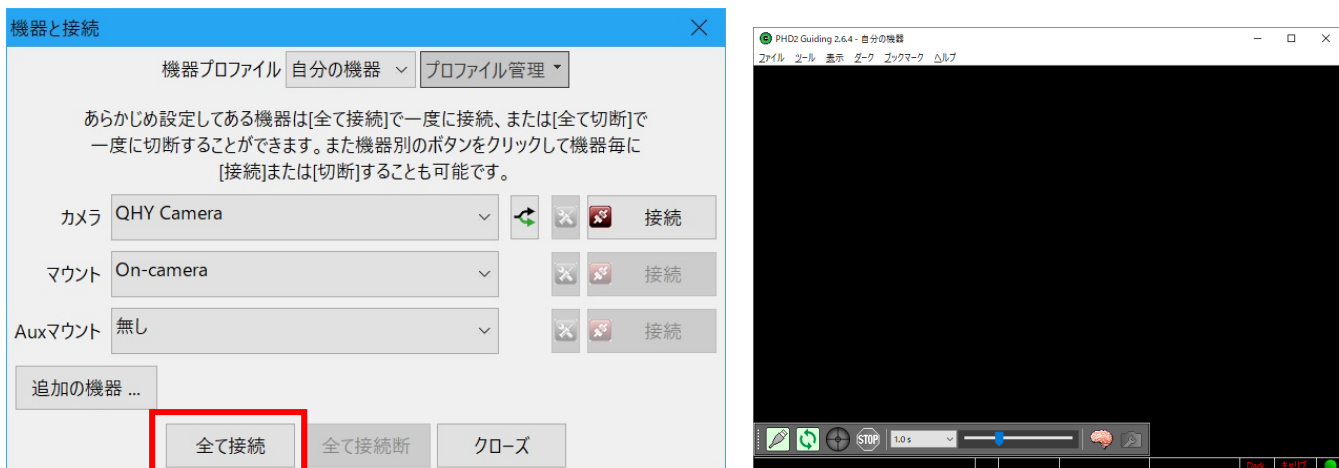
セットアップウィザード推奨 画面が表示されますが、ここでは「いいえ」をクリックします。



- ③ 「機器と接続」画面でカメラリストから「QHY Camera」を選択します。
また、マウントリストから「On-camera」を選択します。Aux マウントは「無し」で結構です。



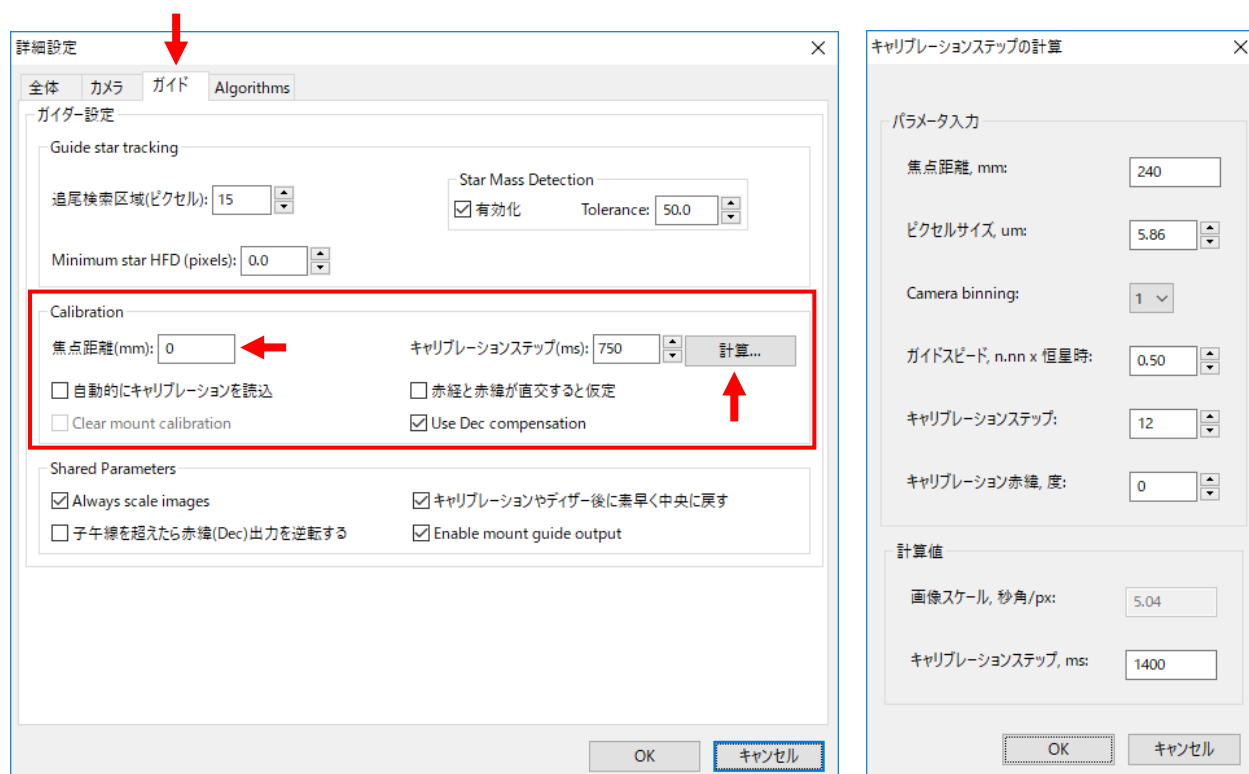
- ④ 「全て接続」ボタンをクリックします。
「機器と接続」画面が消えてカメラが接続された状態になります。



- ⑤ 接続が完了したら、詳細設定を行います。
メインツールバーの「脳みそアイコン」をクリックして詳細設定画面を開きます。



「ガイド」タブを選択して、Calibration 項目内の焦点距離(mm)にお使いのガイド鏡の焦点距離を入力してください。次にキャリブレーションステップの右側にある「計算」ボタンをクリックしてください。キャリブレーションステップ値が自動計算され、キャリブレーションステップの計算画面に表示されますので確認して「OK」ボタンをクリックしてください。その後、詳細設定画面の「OK」ボタンをクリックして画面を閉じます。



【 キャプチャーからガイドまでの手順 】

- ① PHD2 Guiding のメインツールバー内のカメラ露出時間リストより露出時間を選択し、「露出ループの開始」をクリックします。

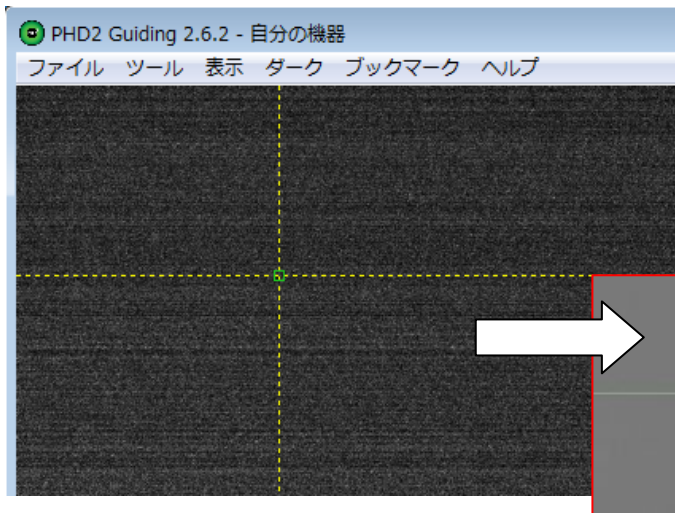


露出ループの開始 カメラ露出時間

- ① キャプチャーエリアにガイド星が現れたら適当なガイド星をクリックします。ガイド準備状態になると、左から3番目のアイコンがアクティブになりますので「ガイド開始」をクリックします。その後自動的にキャリブレーション（ガイドの動作試験）が始まります。



ガイド開始



キャリブレーションが開始すると赤道儀を試験的に東西南北に動かして移動量と移動方向をソフトが記憶します。キャリブレーションが正常に完了するとオレンジ色の点線が緑色の実線に変わりガイドが開始されます。自動的に東西南北の方向へ動作試験を開始します。完了するまでしばらく待ちましょう。

鏡筒の向きが東西入れ替わる場合は、赤道側のガイド方向が逆転しますので、キャリブレーションからやり直しましょう。

< 補足 >

カメラの装着について

QHY5III をガイド望遠鏡に装着するにあたって、チップ（撮像素子）の東西南北をある程度合わせていた方がキャリブレーションやガイドが安定します。上記でキャプチャーした際に赤道儀のハンドコントローラで東西南北に赤道儀を動かしながら画面上で水平垂直に星が移動するようにカメラを回転させながら固定位置を調整してください。